

せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう
 「馬のおもちやの作り方」「おもちやの作り方をせつめいしよう
 たん元を通した学習か題
 「馬のおもちやの作り方」のせつめいを生かして、一年生への伝え方を学び、生活科「うごくうごくわたしのおもちや」に生かそう。

時	学習すること	4C (人数)	振り返り※どのし点で書くか丸をつけましょう。
1	○生かつ「うごくうごくわたしのおもちや」にむけて、おもちやの作り方のせつ明を学ぶという学習の見とおしをもつ。	(3)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 かんとたんなせつめいをしたい。 二年生に
2	○自分が作ってせつ明するおもちやをえらぶ。 ※おもちや作りの本の読書をかいて学習とする。	(3)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 一年生に作り方がわかるようにしたい。
4・3	○二しゆるいのせつ明文を読んで、馬のおもちやを作る。	(2)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 一回目はむずかしかったけど、二回目はちゃんとできました。
5	○せつ明のくふうを見つけ、しょうかいし合う。	(2)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 じゅんじよがあるといいなと思った。

ゴールのすがた
 せつ明文のじゅんじよやまとまりをとらえ、自分が伝えたいことをかんとたんな文章にまとめることができる。

全体のふりかえり

らしいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう
 「すがたをかえる大豆」「科学読み物での調べ方」「食べ物のひみつを教えます」

たん元を通した学習課題

らしいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして○○のひみつを教える文章を○○に向けて書こう。

時	学習すること	4C (人数)	ふり返り※どのし点で書くか丸をつけましょう。
1	○たんげんとびらから、文しよの内容を想ぞうし、大豆について知っていることを話し合おう。 ○「すがたをかえる大豆」を読み、大体的内容をとらえる。 ○学習課題をせつ定し、学習計画を立てる。	④ ③ ② ① (5) (2)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 もっと大豆のことを 知りたい
2	○文章全体を「はじめ」「中」「終わり」に分けて組み立てをとらえる。 ○「中」であげられているじれいを、さし絵をもとに整理する。	④ ③ ② (3) (5)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 ②たんじりくも「はじめ」と いうことを知った。
3	○大豆に手をくわえるとき言葉の言葉を調べて意味をたしかめる。 ○「はじめ」を読んで、文章のせつ明内ように合った「問い」を考える。	④ ③ ② (7)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 「問い」をはんでなっとく するまで考えた。
4	○それぞれのだん落で中心となる文やつなぎ言葉に注目して、「中」の書かれ方について考える。	③ ② ① (2) (3)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 「一文目」にあることを
5	○「中」では、どんなじゆんじよでれいをあげているか考える。	④ ③ ② ① (4) (3) (2)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 かんたからむすかしいの じゆんじよになつているとは 思わなかつた。
6	○「中」では、どうして⑦だん落はとくべつなのか考える。	④ ③ ② ① (3) (5)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 えだ豆ともやしは作ら ないでできるんだなと 思います。
7	○ここまでの学習をいまえ、筆者のせつ明のしかたのくふうをまとめる。	③ ② ① (2) (5) (3)	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 わたしが書くときも くふうを先に書く。
8	○ほかの食べ物をあつかつた本について、内よやせつ明のくふうについて感想をつたえ合おう。 ※ほかの食べ物をあつかつた本の読書をする(家てい学習)。 ○ここまでの学習をふり返る。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」

ゴールのすがた
 せつ明文の段落やまとまりをとらえ、自分が伝えたいことを文章にまとめることができる。

全体のふりかえり

物語の全体像をとらえ、考えたことを伝え合おう

「たずねびと」



単元を通した学習課題
 表現された言葉をてがかりにして、自分の考えをまとめ、
 「わたしの考える綾カード」を書いて友達と伝え合おう。

時	学習すること	4C	振り返り ※どの視点で書くか丸をつけましょう。
1	○全文を読んで、感想をまとめ、学習の流れをつかむ。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 原爆のことを知った 二度と同じこと 十四万人もの人がなくなり悲しい
2	○それぞれの場面で、「綾」の前に現れたものや人物をまとめる。	4 ●	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 交流のとき自分の考えを伝えられた 場面に現れたものと綾の心情をまとめられた
3	○広島に行くまでの「綾」の気持ちについてまとめる。	4 ●	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 原爆や戦争についてあまり知らなかったが、行ってみたいと思うようになった
4	○広島についてからの「綾」の気持ちについてまとめる。	2 ● 4 ●	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 広島に行って綾は原爆のことやこわさを知った。
5	○物語全体を通した「綾」の心情の変化について話し合う。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」
6	○最後の場面⑧について、自分の考えをまとめ、伝え合う。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」
8・7	○綾の心情の変化などを「わたしの考える綾カード」にまとめ、話し合う。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」
9	○まとめたことを伝え合い、考えを交流する。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」

私達のゴールの姿
 表現や構成の工夫に着目し、綾の心情の変化と戦争の現実や平和の大切さについて自分なりにとらえ、すすんで伝え合っている。

全体のふり返り

作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう

「やまなし」
「イーハトーヴの夢」

単元を通じた学習課題

表現された言葉をてがかりにして、自分の考えをまとめ、
「わたしの考える賢治カード」を書いて友達と伝え合おう。



時	学習すること	4C	振り返り ※どの視点で書くか丸をつけましょう。
1	○全文を読んで、感想をまとめ、学習の流れをつかむ。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 わかりにくい クラムボンとは かのに視点で書かれおもしろい
2	○「五月」「十二月」の風景を、絵や図に表す。	●	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 にているところもあるが川や かのに様子にちがいがあ
3	○「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方や考え方について話し合う。	●	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 賢治は人のために人生をささげた 理想をかなえるため努力した
4	「五月」と「十二月」を比べ、ちがいを見つける。	●●●● ●●●● 4	「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」 五月と十二月では季節や様子が ちがいでイメージがちがう。
5 本時	○「五月」と「十二月」の場面を比べ、宮沢賢治が、題名を「やまなし」とした理由を考え、話し合う。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」
8、6	○「わたしの考える賢治カード」にまとめ、読み合い、感想を交流する。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」
9	○学習のまとめをする。		「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」

私達のゴールの姿
表現や構成の工夫、生き方に着目し、
宮沢賢治の作品にこめられた思いを自分なりにとらえ、すすんで伝え合っている。

全体の振り返り